

平成6年3月18日

学校評価 令和5年度回答結果のまとめ

横浜市立六浦南小学校

校長 柏原 奈保

早春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今年度の「学校評価アンケート」の集計結果と分析をご報告申し上げます。この結果をもとに来年度の教育活動について検討してまいります。アンケートのご協力、ありがとうございました。

○実施日 令和5年12月

○回答数 192名

○結果の分析

※「肯定的回答」とは、アンケートにおいて、「そう思う」「だいたいそう思う」とを合わせた数値です。

※「否定的回答」とは、アンケートにおいて、「あまりそう思わない」「そう思わない」とを合わせた数値です。

小数第一位を四捨五入のため合計が100%にならない場合もあります。

()内の数値は昨年度のものです。

項目	評価項目	肯定的回答	否定的回答	分からない
1	<確かな学力>学校は、基礎・基本の定着に重点を置き、「学び合い」を重視した授業や主体的に問題解決する授業を通して、児童の資質・能力の育成を図っている。	85% (85%)	8% (8%)	7% (7%)
2	<豊かな心>学校は、相手の気持ちを考えて「伝える」「受けとめる」「想像する」活動を大切に、よりよい人間関係を築こうとする姿を育成している。	85% (84%)	8% (7%)	7% (9%)
3	<健やかな体>学校は、自己の健康を見つめ、体力の維持増進などに向けた取組を行っている。	85% (89%)	9% (10%)	7% (1%)
4	<児童指導>学校は、児童一人ひとりに目を配り、課題をとらえて指導をし、児童理解と支援の体制を充実させ、問題の未然防止に努めている。	75% (83%)	16% (10%)	9% (7%)
5	<保健管理>学校は、毎朝の健康観察などに取り組み、児童が周囲の環境や自他の心身の健康に目を向け、自分たちの課題を把握し、解決する力を育成している。	78% (88%)	12% (7%)	10% (5%)
6	<特別支援教育>学校は、学級で学習や生活に困り感を抱いている子どもに、入り込みや取り出し授業などを行い、落ち着いて過ごせるような学習環境の実現に努めている。	66% (71%)	11% (8%)	23% (21%)

7	<地域連携>学校は、保護者、地域のサポートを生かし、開かれた学校づくりに努めるとともに、懇話会などを通して、「まちの子ども」を育てるようにしている。	74% (73%)	11% (13%)	15% (13%)
8	<いじめ対応>学校は、多様な視点から児童の様子を観察し、全校の子どもたちが「いじめのない明るく楽しい学校生活」を送ることができるよう、いじめの防止、いじめの早期発見・早期対応に取り組んでいる。	71% (68%)	11% (12%)	18% (21%)
9	<聴いて考える力>学校は、聴く力や聴いて考える力を育成する取組を行っている	78%	10%	12%

[考察]

1 <確かな学力>

学習の基礎・基本定着のために、普段の授業から教員が「話す・聴く力の育成」を意識してきた。そのため、教育活動全体を通して互いの意見を尊重し合い、適切なコミュニケーションの取り方を学ぶ機会を多く提供できた。また、ICTの効果的な活用を含め、個別最適な学び(個々の児童が自分に合った方法で学ぶこと)と協同的な学び(友だちと一緒に学び、お互いに助け合って成長すること)の追及は昨年度よりさらに深く行えた。さらに、子どもたちのコミュニケーションスキルを向上させるプログラムの構築を考え、学力向上につなげたい。

2 <豊かな心>

「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校をめざした取組の推進の中で、本校は、相手の気持ちを考えて「聴く」「伝える」「受けとめる」「想像する」活動を大切にし、よりよい人間関係を築こうとする姿の育成を目指している。人権研修を定期的に行い、職員の人権意識をさらに高められるようにしてきた。今年度は、学年を超えての交流が増え、児童同士の関わりが充実した。様々な関わりの中で、改めて、相手の気持ちを考えることの大切さや、よりよい関わり方を学ぶことができた。しかしながら、コロナ禍において、友だちとの関わりが希薄になり、よりよい関係づくりが難しくなっている現状もある。互いに思い合える人間関係が築けるよう、引き続き努力していく必要がある。前年度より、質問に対して分からないと答えた人の比率が上がっているため、学校としての取組をもっと伝えていく必要がある。

3 <健やかな体>

「健やかな体」についての肯定的な回答は85%となっており、多くの保護者の方が取組を肯定的に捉えていることが分かる。今年度の取組としては、学校保健委員会において外部講師を招いて実施した授業(3年生～6年生)、運動委員会、保健委員会、運営委員会で連携して実施したなわとび週間、フードロス削減月間に合わせて行った保健委員会による呼びかけなどがある。また、日々の体育の授業では、コロナ禍により実施できなかった単元も行えるようになり、カリキュラムに合わせて、授業を実施することができた。これらは、子どもたちが自己の健康を見つめ、体力の維持増進への意識を高めるために有効であったと考えられる。しかし、否定的な回答や分からないという回答を合わせると15%程度あることを考えると、日々の体育学習に関わる授業改善、保健指導や食育指導の見直しや発信を、継続して行う必要があると考える。

4 <児童指導>

本年度も「学校の決まり」を配布して、各家庭に六浦南小スタンダードを周知した。六浦南スタンダードがあることで、一貫した指導を実現し、盗難や紛失のトラブル、不公平感やいじめや差別の抑止になることを児童には説明している。高学年になると持ち物のルールが守られない傾向にある。問題行動に対しては、これまでと同様に管理職、児童専任、担任、学年がチーム一体となって取り組んできた。iPad の使用ルールでは学年ごとに細かなルールの違いがあり、それぞれの学年の実態に合ったルールで iPad のよりよい活用法を子どもたちと共に模索している。トイレの使用の仕方、よくない使い方が何度も確認された。各学年で注意喚起するとともに、朝会で、校長からトイレをいつも清掃してくれる方のありがたさやトイレの大切さについて話をし、指導した。今後も気を付けて見ていきたい。

5 <保健管理>

定期健康診断では、掲示物を工夫して、自分のからだの仕組みについて興味をもてるようにした。生活習慣（食への興味と運動習慣の大切さ）を身につけるための授業を行うことができた。コロナ感染症が5類になり、感染症予防の意識が低下しないように、保健だよりや掲示板などで手洗い、うがい、換気などの徹底が図られるようによびかけをおこなった。二酸化炭素測定器の活用や、薬剤師の先生との連携も図り呼びかけを行った。健康でバランスのよい「からだづくり」に生かせるように、外部講師と連携を図り、楽しみながら体を動かすことの楽しさを味わうことができた。今後も継続した活動にしていきたい。

6 <特別支援教育>

学級で、学習や生活に困り感を抱いている児童に配慮した学習計画や支援の形（特別支援教室）を考え、充実させていくことができた。また作成した教育支援計画：指導計画を定期的に見直したり、保護者と共有したりすることで、支援に生かすことができた。心の専門家であるスクールカウンセラーを活用し、児童や保護者の悩みに対して専門的な知識・経験に基づいて適切に相談に応じた。「分からない」と回答された方に、支援体制や取り組みを、適宜伝えていく必要性を感じている。

7 <地域連携>

今年度は、学校運営協議会を立ち上げ、教育の質を向上させるための意見交換を行い、今後の学校運営の方向性を確認した。図書ボランティアの方々に、子ども達に本の読み聞かせを行っていただくと同時に、図書館のよりよい環境づくりの手伝いをしていただいた。また、2年生の町たんけんや3年生のスーパー見学などを通して、地域の方のアドバイスやご指導をいただく場面が多くあった。

8 <いじめ対応>

今年度も、いじめ防止基本方針に沿って、いじめアンケートの活用や朝会指導、人権週間の取組などで、未然防止、早期発見・事案対応に努めた。児童支援専任が中心となって、朝会でいじめに関する知識や適切な態度、法律との関わりを具体的に伝える活動を行い、学級で実態に合わせて指導したので、いじめに対する児童の意識の高まりが感じられた。児童についての情報は、職員会議や打ち合わせ、児童指導委員会などで、職員間で盛んに共有し、行動や人間関係の変化などが見られると、管理職、児童支援専任、学年が一体となって、いじめや問題行動等に迅速に対応した。しかし、「分からない」と回答された方が、まだ20%近くおり、取組や対応について、さらなる発信が必要と考える。

9 <聴いて考える力>

今年度より、六浦南小学校での教育活動全体を通して育成する力として「聴いて考える力」を設定した。その「聴いて考える力」を育むために、子どもたちが聴きたい・考えたいと思えるような授業は何かを考え実践したり、子どもたちと共によりよい聴き方とはどういったものかを確認したりしてきた。アンケートを見ると、肯定的な回答が78%を占めている一方で、残りの22%の保護者の方は、否定的であったり分からないと答えたりしている。今年度取り組んできたことは継続・発展しつつ、学校として「聴いて考える力」をどのようにして捉え、どのような実践を行っているのか、積極的に発信することで、より保護者との共通理解が図れると考えられる。